学校番号	３０２６

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ⅱ（GS）	単位数	５単位	年次	２年次
使用教科書	数学Ⅱ（数研出版）						
副教材等	サクシード数学Ⅱ＋B　解答付き サクシード数学Ⅱ＋B 完成ノート スタディサプリ（デジタル教材）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

自律した学習能力を身に付けることを大切に進めていきます。数学 IA に比べて、より発展した内容を学習します。問題が解けるかどうかを単に目指すわけではなく、なぜこうなるのかを自分で説明できるようなることや、なぜこのような公式が成り立つのかを数学的根拠に基づきながら理解し、さらに証明できることを目指します。1 年次では英語選択者と日本語選択者で分かれて学習していましたが、数学Ⅱは日本語で学習していきます。みなさんにお願いしたいことは①1 年次に学習したことを復習してください。特に英語選択で学習した人は日本語での理解をし直してください。②難しいと感じたら無理に進まず振り返って自分が分かるところまで戻ることです。このように丁寧に振り返ることで数学の世界を根本的なところから理解することができます。そのような理解は、他教科や学校生活や私生活の中でも役立ちます。

2　学習の到達目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、論理的思考力、数学的技能・能力・思考力を身に付けることを目指す。
方程式、関数、微分・積分について発展的な概念や原理、法則を体系的に理解するとともに、数学と人間社会乃関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現する技能を身に付けられるようにする。
教科書や問題集にない未知の問題に取り組む経験を通して、単なる公式の暗記や解法のパターン化のみに終始せず、数学に創造的に取り組もうとする態度を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に取り組む態度
観点の趣旨	数学における基本的な概念を様々な方法で表現する方法を理解し、説明しようとしている。また、数学的な概念を他者に概念を用いて効果的に説明することができる。身の回りの事象や、数学特有の事象について、数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	身の回りの事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に付けている。レポート課題等で、独自の視点から考察することができ、かつ数式や図を用いた数学的な表現が十分できる。	数学の良さを認識し数学を活用し、数学的根拠に基づいて判断しようとする。問題解決の過程を振り返り、考察を深め、評価・改善しようとする。自分の目標に対して、自分で計画を立て学習することができる。課題に対して、実施することだけを目標にするのではなく、自身の能力を伸ばすように積極的に取り組むことができる。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	式と証明	３次式の展開・因数分解 二項定理 多項式の除法 分数式の計算 恒等式 等式の証明 不等式の証明	a: ３次式の展開や二項定理などを公式の成り立ちから理解できる。他者に説明する際、数式や図を用いて効果的に説明することができる。 b: レポート課題等で、独自の視点から考察することができ、かつ数式や図を用いた数学的な表現が十分にできる。１つの問題に対し、複数の解答や証明を示すことができる。 c: 数学のよさを認識し数学を活用しようとし、数学的根拠に基づいて判断しようとする。目標に対して、自分で計画を立て学習を進めることができる。	小テスト 期末試験	レポート 課題 期末試験	宿題 レポート 課題
	複素数と方程式	複素数 ２次方程式の解と判別式 解と係数の関係 剰余の定理 因数定理 高次方程式	a: 複素数の基本概念とその有用性、高次方程式との関係について理解する。他者に説明する際、数式や図を用いて効果的に説明することができる。 b: レポート課題等で、独自の視点から考察することができ、かつ数式や図を用いた数学的な表現が十分にできる。 c: 数学のよさを認識し数学を活用しようとし、数学的根拠に基づいて判断しようとする。目標に対して、自分で計画を立て学習を進めることができる。	小テスト 期末試験	レポート 課題 期末試験	宿題 レポート 課題
	図形と方程式	点と直線 直線と方程式 ２直線の関係 円の方程式 円と直線 ２つの円	a:平面内の方程式やその図形の関係性について視覚的・数式的な理解ができる。他者に説明する際、数式や図を用いて効果的に説明することができる。 b:レポート課題等で、独自の視点から考察することができ、かつ数式や図を用いた数学的な表現が十分にできる。１つの問題に対し、複数の解答を示すことができる。 c: 数学のよさを認識し数学を活用しようとし、数学的根拠に基づいて判断しようとする。目標に対して、自分で計画を立て学習を進めることができる。	小テスト 期末試験	レポート 課題 期末試験	宿題 レポート 課題

2学期	三角関数	一般角と弧度法 三角関数 三角関数のグラフ 加法定理 三角関数の合成	a:三角関数の基本性質、加法定理や 2 倍角の公式など基本事項を理解し、その公式の成り立ちも理解できる。他者に説明する際、数式や図を用いて効果的に説明することができる。 b:レポート課題等で、独自の視点から考察することができ、かつ数式や図を用いた数学的な表現が十分にできる。１つの問題に対し、複数の解答を示すことができる。 c: 数学のよさを認識し数学を活用しようとし、数学的根拠に基づいて判断しようとする。目標に対して、自分で計画を立て学習を進めることができる。	小テスト 期末試験	レポート 課題 期末試験	宿題 レポート 課題
	指数・対数関数	指数の拡張 指数関数 対数関数 常用対数	a:指数・対数の定義から基本性質が理解できる。また基本性質から導かれる公式の成り立ちも理解できる。他者に説明する際、数式や図を用いて効果的に説明することができる。 b:レポート課題等で、独自の視点から考察することができ、かつ数式や図を用いた数学的な表現が十分にできる。他分野との関連（等比数列、関数の最大最小など）と結びつけることで１つの問題に対し、複数の視点を示すことができる。 c: 数学のよさを認識し数学を活用しようとし、数学的根拠に基づいて判断しようとする。目標に対して、自分で計画を立て学習を進めることができる。	小テスト 期末試験	レポート 課題 期末試験	宿題 レポート 課題
3学期	微分法	微分係数と導関数 導関数の定義 接線の方程式 増減表と関数の最大値、最小値 関数のグラフと方程式、不等式	a:微分の目的、定義、公式の成り立ちについて理解できる。他者に説明する際、数式や図を用いて効果的に説明することができる。 b:レポート課題等で、独自の視点から考察することができ、かつ数式や図を用いた数学的な表現が十分にできる。 c: 数学のよさを認識し数学を活用しようとし、数学的根拠に基づいて判断しようとする。目標に対して、自分で計画を立て学習を進めることができる。	小テスト 期末試験	レポート 課題 期末試験	宿題 レポート 課題

	積分法	不定積分 定積分 面積 微分積分総合演習	a:積分の目的、公式の成り立ちについて理解できる。他者に説明する際、数式や図を用いて効果的に説明することができる。 b:レポート課題等で、独自の視点から考察することができ、かつ数式や図を用いた数学的な表現が十分にできる。 c: 数学のよさを認識し数学を活用しようとし、数学的根拠に基づいて判断しようとする。目標に対して、自分で計画を立て学習を進めることができる。	小テスト 期末試験	レポート 課題 期末試験	宿題 レポート 課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度